

# 第39回(2026年度) 学生奨学論文 募集要項

## 1. 応募資格

個人でもグループでも応募可能です。

- ◇大阪経済大学に在籍する学部生(科目等履修生は該当しません)。
- ◇大阪経大会ホームページや印刷物に掲載(公開)することを許諾できる者。
- ◇応募は、一人または1グループにつき1論文とする。

## 2. 論 題

- ◇自由論題です。各自で論題を設定してください。
- ※論文については、**先行研究を十分に踏まえて作成してください。**
- ※卒業論文の経過や卒業論文自体の投稿は不可とします。

## 3. 原稿の体裁

- ◇刷り上りがA4版横書きで、図表・統計資料を含めて**10ページ程度**とします。
- ◇表紙、要約、目次は原稿枚数に含みません。
- ◇表紙は大阪経大会所定の様式を使用してください(6月に大阪経大会ホームページに掲載予定)。

— 以下の体裁等を守らない場合は審査の対象外となります。 —

- (1) 1ページ 40字×40行
- (2) 表紙 → 要約(800字程度) → 目次 → 本文 の順序で作成
- (3) 表紙は学会所定の様式を使用し、**所属学部、氏名、学籍番号、学年等の著者に関する情報は記入しないこと**
- (4) 本文にはページを入れる
- (5) 論文執筆に利用・引用した文献および資料はすべて、脚注や参考文献として表示すること  
※記載がない場合、盗用とみなされることがあります。
- (6) 論文内(データ等含む)に**謝辞や指導教員等がわかる情報は入れないこと**
- (7) グループで研究したり調査した成果を学生奨学論文とする場合、そのグループのメンバー全員による共同論文として応募しないのであれば、応募しないメンバーや関係者の承諾を得ること(承諾書の提出義務)
- (8) 応募論文は未発表の論文であること
- (9) 過去の論文を発展させ、過去の論文の結論をより確かなもののできるのであれば、未発表の論文として応募できる  
(本文初めに「本論文は、20xx年度学生奨学論文に応募した原稿を基に作成したものである」などを記載すること)
- (10) 共同論文の場合は、全体の構成をよく考え、各章で同じ内容になっていないかなどを確認すること
- (11) 誤字・脱字がないかを必ず確認すること

## 4. 提出について

※不備がある場合は、審査の対象外とします。

提出期間：**2026年9月24日(木)～9月30日(水) 17:00** ※厳守(期間を過ぎての提出は受け付けません)

提出方法：**KVCにて後日案内**(※Formsによる提出を予定)

申し込み必要項目の入力および、下記の提出物①～②を添付して送信

- 提出物：①論文原稿 ※表紙は、大阪経大会所定の様式を使用すること  
※論文のファイル形式はPDFとし、パスワード等の**セキュリティは設定しないこと**
- ②関係者の承諾書(原稿の体裁(7)に該当する論文のみ)

※学生奨学論文申込票、表紙(学会所定の様式)は、6月に大阪経大会ホームページに掲載予定

## 5. 審査

本学専任教員で構成する審査委員会が行います。

## 6. 結果発表

結果は、2026年12月初めに、「学生奨学論文申込票」に記載のメールアドレスにお知らせします。

表彰式は12月10日(木)を予定しています。

## 7. 表彰と副賞

### ■参加賞 図書カード5千円分

※個人応募の場合は応募者本人に、グループ応募の場合はグループに図書カード5千円分を贈呈します。

※審査委員会において審査対象外と判断された論文については、参加賞の贈呈はしません。

※参加賞は、大阪経済大学後援会の協賛により贈呈します。

### ■表彰式(12月)において、入賞者に賞状および副賞を授与します。

[特 選]副賞 奨学金20万円および図書カード5万円分

[入 選]副賞 奨学金10万円および図書カード3万円分

[佳 作]副賞 奨学金 5万円および図書カード1万円分

[努力賞]副賞 奨学金 2万円および図書カード5千円分

※奨学金は大阪経大学会より授与し、図書カードは大樟会(同窓会)の協賛により授与します。

## 8. 入賞論文の公表

入賞論文については、全文を複写・製本して、図書館で閲覧できるようにします。

また、入賞論文については、学会ホームページにも公開します。

入賞論文の著作権については、大阪経大学会に帰属します。

## 9. 昨年の入賞状況 ※学会ホームページおよび図書館にて閲覧可能です。

[特 選] 該当なし

[入 選] 該当なし

[佳 作] 該当なし

[努力賞] 1本

## 10. お問い合わせ

大阪経大学会事務局(J館3階 研究推進課内)

TEL 06-6328-2431(代)

FAX 06-6370-7847

E-mail : gakkai@osaka-ue.ac.jp

大阪経大学会ホームページ <https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/>

# 論文を書くには

## 1. レポートとの違いを理解しよう

□ 自分なりのテーマを設定する

手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」第2章 p.28「3. 卒業論文のポイント」参照

<https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>

□ 引用文献を必ず書くこと

手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」第5章 p.69「文献・資料の引用」参照

<https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>

## 2. 応募することに意義がある

□ 学生時代のよい経験になるし、就職活動のPRにもなる。

## 3. 審査のポイントを押さえよう

□ 形式

形式は大切です

・ 原稿の体裁は、様式どおりか 【注意】(I)～(II)を必ずチェックしてください

・ 文献引用は適切に記載しているか

・ “注”の付け方は正しいか

□ 内容

調査やフィールドワークはポイントが高い

・ 表現力・分析力・構成力はあるか

・ 主張が明確か、オリジナリティはあるか

・ 説得力があるか（結論まで整合性がとれているか）

共同論文の場合は、テーマの方向性を合わせ、論文構成に十分注意すること

## 4. スケジュールを立てよう

6月……………テーマ設定

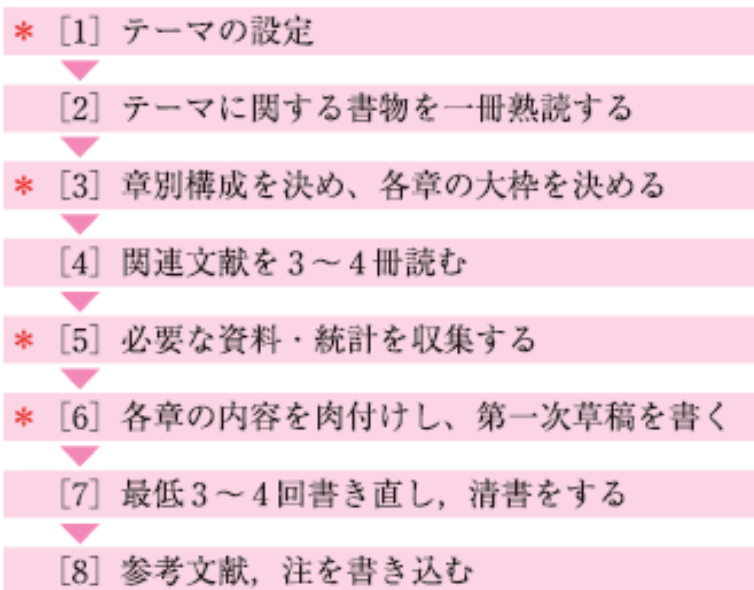
7月～8月……………資料収集 ・下書き ・推敲

9月24日～30日17:00…提出

## 5. 論文執筆のプロセス

手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」第2章 p.30参照

<https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>



(\*は特に重要なプロセス)



## 6. 論文執筆の手がかりとなる文献・資料

・手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」

<https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>

・本学図書館では、書籍・雑誌を豊富に取り揃えています。専門分野の書籍はもちろんのこと、論文の書き方について書かれた書籍も多数あります。文献や資料を収集の際に、ぜひ利用してください。

論文は、書くと必ず自分の力になります。  
途中であきらめたくなるかもしれませんが、  
頑張って最後まで仕上げましょう

協賛：大阪経済大学大樟会（同窓会） 協力：大阪経済大学図書館  
大阪経済大学後援会

大阪経大会事務局 gakkai@osaka-ue.ac.jp